

# 堀川 キャナル通り / キャナルエリア堀川

## 石炭輸送の水運(堀川運河)から、陸運(鉄道)への 移り変わりをみることの出来るの場所

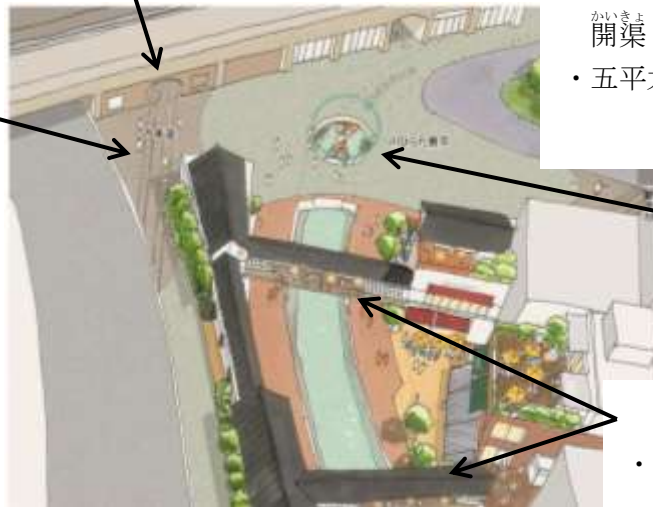
(折尾駅は、駅前に堀川運河が流れ、駅前広場が無い、珍しい駅だった)

### 《南口改札の設置を!》

現在、鹿児島本線の南側には、3つの改札口があるが、新駅では改札口は、北側の1つのみ! とても不便!!

### 《筑豊本線の本物の線路を活用した歩道(自動車道)》

鹿児島本線の方向や位置は変わらないので、旧筑豊本線の自動車道をつくることにより、以前、立体交差駅だったことがわかる。



### 《堀川運河全体が見えるように》

- ・暗渠(川の上の蓋)を除く。
- ・不可能な場合、一部だけでも開渠(川が見える)にする。
- ・五平太船を展示する。



### 《回廊》

- ・川を横断する回廊を造り、回遊性を高め、集客力の向上を図る。

### 《レトロな飲食街(景観法等を考慮)》

片側が堀川運河、片側が30m道路に面し、奥行きが無い、極狭の商店街。この建物が、折尾の街のイメージを左右する。統一感ある商店街にする。

### 《堀川運河沿いに、紅梅並木を》

折尾には、菅原神社がある。学生の街なので、合格祈願の通りとして、川沿いに紅梅を植える。



### 《堀川キャナル通り》

(折尾駅~河守神社を、遊歩道に整備)

- ・「堀川運河」は自然の河川ではなく、180余年もかかって掘った人工の運河。
- ・堀川運河の歴史を、北九州市/中間市/水巻町の約100校の小学校4年生が学び、見学にも訪れる。
- ・堀川掘削の最大の難所「車返し」のノミ跡を通り、河守神社までを散策できる遊歩道に整備し、健康増進にも役立つ。

### 《キャナルエリア堀川》

(堀川キャナル通りの複合商業施設)

- 『キャナルシティ博多は、人工の運河  
キャナルエリア堀川は、本物の運河』
- ・堀川運河と立体交差する回廊を2階部分につくり、対岸の商店街とつなぐ。
  - ・回廊にすることにより、ミニ堀川運河遊歩道となり、天候に左右されることがなく、自分のペースで散策できる。
  - ・キャナルシティ博多のように、イベントなどで昔ながらの賑わいを取り戻す。